調査員の正式通告

郷より一日午後一時半謝介石外交響長に発下左の如き電報が到達した旨一日午後四時滿

満洲國政府に對して

吉田伊三郎、書記長鹽崎観三、書記森好富、貴布模、木村、陳、渡大佐、佐藤書記官補助鮑靜安、顧問ステノグラファー、召使ハッセイ、ローナルド外三名をパート・ハース、専門委員・ベルトペラー、男秀峰、調査團補助員アスタールコッツ、バスツボブ、ベルトペラー、男秀峰、調査團補助員アスターリット・ハース、専門委員・イアムアンセリー、ノモスヤング、ドレールールコッツ、バスツボブ、ベルトペラー、男秀峰、調査團補助員アスターリットに言及せられたる事項は我等が長春着の豫定の大郎は打曜日(二日)午後七時三十分長春着の豫定の大郎は打曜日(二日)午後七時三十分長春着の豫定の大郎に言及せられたる事項は我等が長春着後親しく會見の席上討議するな得べしなされた。

が、これがため調査委員が長春春

全満の農民

資金

調查委員に陳情

きのふ陳情文を手交

ける北上

大法によって通告し満洲國政府の諒解を求めるものらしい、而して清洲國政府が、礼に同意せば、歌家東鼠は北大のとので、二十七名の多数に上つてゐた文願維釣問題僚為つたもので、二十七名の多数に上つてゐた文願維釣が満洲國內に於て治安を素すが如き行爲をしてなされたもので、二十七名の多数に上つてゐた文願維釣問題際決の形態に就で職職方と、光清觀察の目程決定、また郷日の委鼠代表者の電明によってもこれを知り得られるが、付解維負問題解決の形態に就で職職するに長春に於て調査團が満日の委鼠代表者の電明によってもこれを知り得られるが、付解維負問題解決の形態に就で職職方と、共清觀察の目程決定、また郷日の委鼠代表者の電明によってもこれを知り得られるが、付解維剣問題代鼠の人清潔婆の板擬みとなりリットン委鼠長が、強く心痛せることは風知のことであるが、リットン委鼠長は難態上入清以來も顕維負問題の際決の顧に設り、內々谷が配と指触してなさいる。ことを委員側に於て青日を持ち、右の旨を満洲國政府に発し、治職察の板擬みとなりリットン委鼠長が、強く心痛せることは風知のことであるが、リットン委鼠長は難能上入清以來も顕維負問題の解決の顧に設り、內々谷が配と指触して法といる。

《印刷》段

が、支那の國民政府の博工合はご、収入であるが本年度は三億七千四が、支那の國民政府の博工合はご、収入であるが本年度は三億七千四が、支那の過代か占めるものは開税

能ち一昨年

文昨年度も内御一郎一郎一郎一郎一郎五千萬元の

銀行家、質素家の代表を集めて國政府は財政の基礎を開て國家支

九三一―三二年度 は 外傷の 元利支援

の事かり

九三十二十二年日第

五球グロリヤラヂオ

度御試聽を乞ふ

タイプは断然モ

室に於て世界第一である。 支那の軍事費は國費に對する

二七九、000

格率作 याया

肥原少將

哈市發赴任

大連総田赴低の途についたが満石では日満官民多數の見送りを受け 長土肥原少將は在支二十年幾多際長に柴轉したハルビン特務機

ゼット

會社

▲六日朝吉林婺属長一泊▲七日吉林驛構内停留の列車内に宿泊列車で長春發吉林に向ひ、同夜

朝長春蒙ハルビンに向け出發

安達氏復黨問題

早晩表面化せん

佛國の

何申**此**次第最新南京虫驅除法一部進尽

あり个大の機選駆の結果は直にこの重要問題が多駆逐へてある際での重要問題が多駆逐へてある際で シン政見養表施説戦・本日を以て打。 一年の魅力前の解けさを示して 一種に各地に行はれてゐる候補者 み
な
と
屋

生徒募集縣爾爾等聯篇等

9

の六

本 賣 罪話六-藥

體裁だけ出來た 軍事費の國費比率世界第

選を祝つたさいふから から

业式關印加

日ごろか

支那側の通知次第續開

である。

行の來長を前

謝介石外交總長 語る

大藤学園にならう)特別 東心て立つべき決意を励めるに至った機であるから君機機能能にそれない。 「東京一日餐」安楽観三氏の民政 つた機であるから君機機能能にを 一部車中に 総製観室してるた際内中製制が網 の馬脚の一部幹部も何様では 一部車中に 総製観室してるた際内中製制が網 の馬脚の一部幹部も何様でな でいるの事選集會等は無 「東京一日餐」安楽観三氏の民政 つた機であるから君機機能能にそ 大藤学園にならう)特別 東心て立つべき決意を励めるに至

な 満洲國外交配總長融代在氏はリッ 表したが、調査駅 一行の來長か前 が にして語る 『長春電話』 「別列車で到着するがその到着に

爆弾事件の對策は留保

側維約の行動に關

調査團で責任をもつ

顧問題折衝の內容

たしなめ、いろく説明を加へ

おれて、は、 はばまた全種大使でもなく、 なる平和の追求者でしての使命 をもつて來たものである をもつて來たものである をもつて來たものである す」この挨拶に對して有難う す」この挨拶に對して有難う す」この挨拶に對して有難う なる。

積極的方針を確立

ける政友特別委員會

不動產金融改善案

廿四勇士慰靈祭 けさ八時年埠頭にて執行

ので其の旨一職高権職権に報告と 軸辺川皿及中下 せどうったが解散室の空線にも選らない 膝の編集決定すること、なった一番の作業をの空線にも選らない 膝の編集決定すること、なった一番に努めた仏閣する数ひはないが

多數参拜しませう

融和せることは野郷の通りである こ見らる『長春電話』 戦電交換を転換とし調査委員で流 現の見込が進んできた、爪職する最長と満洲國外突然是離介森と按 現の見込が進んできた、爪職する最長と満洲國外突然是離介森と按 現の見込が進んできた、爪職する 調査員會見せん 溥儀執政ごも會見か

滿蒙移植民

政策の協議

マるか否かはまだ機つてみない はスープ、警棍、林檎の煮たもの いで右足の頭片編出のため手術 した。 であるかはまだ機つてみない

皮膚梅毒科—一般皮膚病等」動格養

花柳病科——林疾、下疳、横、、睾丸炎、慢性林疾泌尿器科——腎臓、膀胱、尿道諸病

入院室完備——腎臓檢查、膀胱鏡檢查應

三十九座臓権百呼吸三十八で食事と続く低下せず午前十一時の慌濫

拓相、首相訪

一日正午各氏

満洲要人と

移植民政策の見地から消象を 十一時半大藝貨機を電販に訪び我

正午の白心、植田剛閣下の容飾左尾上海一日登】陸軍兵站網院登表

陸軍兵站網院養表

十六度六分、脈搏七十八、倚兩一直川軍司令官體溫三十六度五分

内外各方面から

佐藤建築事務

日)

佐藤

難者容體

一日登」事代以来重光公使 一日登」事代以来重光公使 で記等にあてた見郷歌歌は で記等にあてた見郷歌歌は で記等にあてた見郷歌歌は

公使宛卅日は三百通

積資立本

金金

壹億壹千七百零拾萬圓

圓(全額拂込濟)

支店出張所是華東京東京

白川、植田兩將軍元氣 里光公使は幾分發熱

長春に於る

一行の日程

では一日一行の日程を左の

動りにリフトン臓も服骸を燃った一日 下ボールに入って寒たが歯に は入海以来連日の本圧軍司令 た北平における記者臓さの食見の な人流以来連日の本圧軍司令 た北平における記者臓さの食見の な人流以来連日の本圧軍司令 た北平における記者臓さの食見の なりにボーズを作る、各外関記者 で、水が以来連日の本圧軍司令 た北平における記者臓さの食見の なりにボーズを作る、各外関記者 で、水が以来連日の本圧軍司令 た北平における記者臓さの食見の なりにボーズを作る、各外関記者 で、とがない、お手越 採 見 したい とことがない、お手越 採 見 したい

奉天記者團と會見一

剛奉を控へてきのふ

古し、午後二時五十分會長更被索、七十一時全滿の農民に來水中の調査委員に本水中の調査委員に、午後二時五十分會長更被索、

セミヨノフ氏

送別



天長節レセプシ

ション

一コン 職職の変数は級天趣報事節

、借飲企業様式、四、時間、企業様式、四、政府で外間工場商前の開催に分たで置は単編を聯合の開種に分たで置は単編を聯合の開種に分たい。

=

収備材料さなし通常時質に照合

外國の技術資本

利用辦法の草案

國民政府實業部起草

は全部中國に属すべきもの管

飲人は金銭に関する監

一着 额生高女A組(坂本、安 州内高女招待四百米欄走 州内高女招待四百米欄走

降高 盤維 碍跳投投走

五月一日より女那瞎報便料値上げ 一行対害四分を六分に、準書二分を 一を戦行と確率の支那答地及び日本 二分に吹託値上げらたが終地共議 五 際近に至って終地監御正人等が反 込む を対するのが対象を繋げついある。 と、 を対するのが対象を繋げついる。 を対するのが対象を繋げついる。 を対するのが対象を繋げついる。 を対するのが対象を繋げついる。 と、

製)一着六個五

墨では多戯ルンペンの入り込んで ・ 水臓子、沙河口、水上谷警察

郵便料値上げに

支那民衆の反對

郵務工人會まで起っ

绿尾(黄)四九米九四 居名(綠)四七米九九 居名(綠)四七米九九 河田(日)四一米八〇 清田(日)四一米八〇

四着松電第〈自〉五着常盤〈淳老一着一三隅〈樺〉五四科二

H

作品障碍 山田(赤)一六种四 二宮(黄) 井上(練) 井上(練)

日北)二分〇三种二 二着 欅組(島田、杉崎浦野、三 三隅) 三隅)

北平本歌=學良は満洲國民心を歌いな意味を添天、長春等主要都市に撒入

分〇三秒二、山田

な宣傳

五日チチハルを出蒙した資源調査 「本ので顔」を終った、同方蔵に最近國際 でで顔」を終った、同方蔵に最近國際 でで顔」を終った。同方蔵に最近國際 でで顔」を終った。同方蔵に最近國際

芝浦から上野へ

小競合、檢束騒ざ

きのふ東京のメーデー

からいよく 潮のやうな勢働者の 東著八十名、やがて會場は勢齢者 によって充滿し午前十時四十分司 によって充滿し午前十時四十分司 によって充滿し午前十時四十分司 ではまり寒重病を始め十時迄の檄 を着東京銀工の原焼ーの除會の静

張學良の幼稚

消息を絶つ

は 日本勤業銀行では乗る五月十八日 主極力否定して北京 より六月八日までの開第五回割別 つたでせう」ま聞へ 一、賣出總額 額面一千萬國、賣 ごう致しまして、 「時のただけです」 一、賣出總額 額面一千萬國、賣 ご局章てゝ否定ソッ 田價和五百萬國) 一中の人さなつた

さ周章てい否定ソソクサさ自動車

三日日午後の成績に三日日午後の成績に一番、第二者大幅(李騎学)七個五十十二、第二者大幅(李騎学)七個五十十二、第二者、北、

職民の骨折にもよる▲小園町

長端大使が云つてゐる▲日本が、 長端大使が云つてゐる▲日本が、

です致しまして、私は自分の家です致しまして、私は自分の家

き極力が定し「北平で張學良と會

春季

一日午後

▲長岡大使の戯力はもさ

た『奉天電話』

仲田(自)一米三〇

等 二宮、黄)一米七〇等 二宮、黄)一米六八

一分四一秒 一分四一秒 中根、

れる 本高專招待八百米欄走 一着 南端工專(竹內、谷、小 一着 南端工專(竹內、谷、小 第、井本)一分四一秒六 一着 南端電氣(應對、大島、 持原、池邊)一分四一秒 一着 國際運輸 一着 國際運輸 一者 連陽支部(深川、中根、 一章 環間支部(深川、中根、 一章 環間支部(深川、中根、

不逞鮮人

ハを使嗾

事來連

管駐哈府總領

張學良の暗殺計畫

満洲に潜入せしむ

勸業債券賣出

では、全難などで、 を持つたが、をで、 を持つたが、 を表するときには、 をはない。 を表するときには、 を表すると、 をまると、 をまると。 をまると、 をもと、 をもと、 をもと、 をもと、 をもと、 をもと、 をもと、 をもとをもとをもとをもと

(=)

で、一中第二走者震災力走して二中の走者震災かがき第三走者に代る、大融パトンタッチ融く一中に抜かれ大融第三走者佐野さ一中に抜かれ大融第三走者佐野さ一中大融に一時政職したが鑑いてアンカーに代ける。一中大融に一時政職したが鑑い。 ▲州内中等學校招待八百米網走一着 大連一中〈今田、森安、 光田、菅原〉一分三九秒四 光田、菅原〉一分三九秒四 光田、菅原〉一分三九秒四 半米、これに遅れて緑一米で一中 中本、これに遅れて緑一米で一中 ででは、一中第二走着森安力走む

は歌かからして繁微を興へる、午まれてこゝを光途さ根野の腹縁脚をまれているのが、一次のでは、一般のでは、一般のでは、一般のメーンスタンドもパックス

組は徐々に線組に肉薄され最

八百走二砲千走 —四百 中百 九百萬百 米米縣 米米 黄 2 1 3 1 1 3 5 3 0 線 6 2 5 2 4 6 6 6 4 4 3 1 4 5 2 1 4 3 海 1 6 4 6 3 1 3 5 1 2

で線線が勝つた、高線運動會さい のが低側だのに今日は常に素暗ら のが低側だのに今日は常に素暗ら

◆先づ費方は仕立覧を評する前に の分差が傾人であるか解が本分 であるのか御者へではありませ んか、高質を叫ばるゝより高質 んか、高質を叫ばるゝより高質 ◆仕笠薫の高質を叫ばれた婦人代表者よ、あまりにも自己の立場 表者よ、あまりにも自己の立場

神村 すらさは傷中

を恥じめぬ事を数たる者は宜じ

改

洋服

、毛皮、

書畵

0) 便定

虫よけには是れ

以上の品はありません

は は 人にして現代の がく 活動 脱 は かんにして 現代の がく 活動 脱 は かっと さんより て 間ら仕 定様る 力の 無き 人より て 間ら仕 定様る 力の 無き 人より は る言葉であって、 間ら針を 運 が カカる 婦人は 高値を 確へる 前

の意見さいから一般等人 の意見さいから一般等人 れてゐたのですか、外國ご是つ た我が國は古來婦人に依て在版 た司つては居りませんでしたか を司つては居りませんでしたか

して、野性の助力で、 でない、

国で資出すもので十萬通づゝ五 組建談五十萬通である 三、當籤割增金 初回は一等三千 国二十五、二等百圓五百、三等 十圓千九百七十五、二回以後は 一等三千圓五百、二等百圓五十、 三等十圓六百九十五 なかったされた行ったが野生は 中國共產黨 奉天で 学び事故の豪生を見た信び市内の祭職

カラハンで病味で突滅と戦名とた ★脚り脚の蟹を折つた時だつた 大脚り脚の蟹を折つた時だつた に際會され、像想よりは穏かに終 でなるといる。 では、 でであると、 大脚り脚のというでは、 でであると、 でいると、 でい 動用なる模様 乗売される模様 本会には解析するである。

町廿六小松原和夫氏等であった

二等加賀三六山本梅吉、三等渡速一等市内常磐町二番地橋羽次郎、



一隨用信

品製計會式株達寶谷土保

論より證據今すぐ御用ひ下さい。



は、いつまでも不信なる事ができません。 で関生がない、黒焼等に送ばる。今日の で関生がない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、黒焼等に送ばる。 ではない、これではなった。 ではない、これではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 になる。 ではない。 になる。 ではない。 になる。 ではない。 ではない。 になる。 ではない。 になる。 ではない。 になる。 にな。 になる。 にな。 岸海久新·原田小州相 社 養 療 然 自

果然 西全完 煙防止

大 三、火力强大 七、價格低廉 七、價格低廉 防煤 上規 〇代 則。府令生

◎カタログ進星 理 國面正器機繁全完式村西 所作製器燒燃式村西 結前槽》四屬西市版大 雪五二番四二町新器館 都京•屋古名•濱濱•京東 所業盤



白

流下の最良手當法 ○御心配無用トマリの月数を書 さ今スグお手紙にてお問合せ下さい人助 けの為安全無害の方法を極 しておりの当数を書 野てる





大連若狭町三(西通入) 電話七七七六番

佐藤久三郎 醫開博士

電話八二五番 ||三(西広場で)

る

國國家民

0

話五六四九番店

いが警官隊前進す

包圍線や打破

急迫せる通化の邦人保護のため

途中大刀會匪

こ交戦

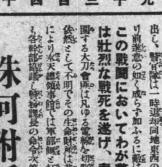
長はハルビンに逃避したるもこの

輯安に危機迫る

婦女子避難で大混雜

日本赤十字

沙村



珠河附近に潜伏の 反吉軍列車や襲撃

な反音軍が突然列車な襲撃して 珠河縣城の

復活困難

村井○團哈市歸還の途中

帰た念いである『挙天電話』

り将天總領事館では軍部艦さ打合せ軍隊及び飛行機の出動な見るに至る機様できるて不明でその生命財産は非常に延慮されるに至つたが、艦便による飛棒、撃る大力會康は凡ゆる電線を排離してゐるため道化餓事分館における神津融餓事以

は北別な戦死を遂げ、奉天署の董場巡査ほか四名は負傷した、通化を包さい際に続は一時選組同地東西の殿高地を出機しこれを発売してゐる、際語隊は一時選組同地東西の殿高地を出機しこれを発売してゐる、緊語隊は同地方のか殿を風化北方を胜る二十五支里の二勢河口において大乃會興千二百名と歐突滅域の後、厳死原百五十名を記化北方を胜る二十五支里の二勢河口において大乃會興千二百名と歐突滅域の後、厳死原百五十名を記化北方を胜る二十五支里の二勢河口において大乃會興千二百名と歐突滅域の後、厳死原百五十名を出た北方を胜る二十五支里の二勢河口において大乃會興千二百名と歐突滅域の後、厳死原百五十名を出た北方を野百家は日午後零時半安、午後五時十分素天着の嵯峨によれば、通化に向った阪井響部の指揮する野百家は日午後零時半安、午後五時十分素天着の嵯峨によれば、通化に向った阪井響部の指揮する野百家は日午後零時半安、午後五時十分素天着の嵯峨によれば、通化に向った阪井響部の指揮する野百家は日本後零時半安、午後五時十分素天着の嵯峨によれば、通化に向った阪井響部の指揮する野百家は日本

功元警部補 ほか 六名奮戰死傷。



戦安の近くに辿りつくありさの報報安の近くに辿りつくありまの間にて 大海難を呈してゐる【安東電話】 城内の婦女子は避難するた

巾内六十ケ所に 東京空箱投入函

神殿 動の 核心さいふべき の

坊ちやんや孃ちやん 半…負傷戦士を勞りませう…★

である、彼にそれ等の菓子をである、彼にそれをあることをなくぬすこれを製めてそれとくの

の一切ちゃん気ちゃ

中川五場

水

百貨店等に有引)定價壹圓三十錢也

目下大評判の徳用なる

3.

らん

大阪で、丸橋、銀杏がへもの女々で変には相應しい、脚取つたは の家には相應しい、脚取つたは で変には相應しい、脚取つたは で変には相應しい、脚取つたは 爛漫

の復活は胚髄の模様である『長春やは燃光または破壊せられある母性は燃光または破壊せられある母性の関係の大きない。 討伐軍吉林着 び運送艦、病院艦道に内地の各衛」の設置に從事したが先年開東震災三名を以て救護班を編成し戦地及一改病院、海軍病院に派遣し係病者

鐵道爆破事件の犠牲者

朝妻少佐

ら涙の凱旋

きの

ふ戦友に護られ大連驛着

六大學リーグ戦

職の○個○除も昨夜八時間を一番に分宿し近り は三十日正午來吉共聚會社構内に 【吉林特電一日整】騎兵第〇〇隊

時出帆のうずりい丸で内地へ還送 に撃くも腕を打たれて、一般なの手に悪でれる勢 たまないない。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 を受ける。 ででである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででは、 でである。 ででは、 でである。 ででは、 ハンカチを

東京一日登 | 六大學野球リーグ | 東京一日登 | 六大學野球リーグ | 東京一日登 | 六大學野球リーグ | 11人 | 1 片桐(慶應)土井、小川 ペッテリー (帝大)縣田、 對帝大二回戰

約百八十名は三十日午後七時城外への電報によれば戦安の公安大隊への電報によれば戦安の公安大隊

走する模様である。何れも今夜遊走した、また歩兵一衛も今夜

離關東州野球大

日第日三

南滿工專對南滿電氣戰

けふ午後四時から滿俣

球場で

| 東京一日登] 明法二回戦は午

明大雪辱

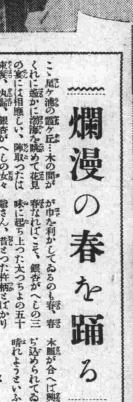
慶大勝つ 市民一般より受けた信低は非常は中、大佐が隊内部下からは然論

大佐は叉、(幅の人で、それは乗 いた性人だ今難戻の過話は、今 れた性人だ今難戻の過話は、今 れた性人だ今難戻の過話は、今 れた性人だ今難戻の過話は、今 同はあの典型的武人の在氏を

急癒軟膏 五拾錢、壹個、送料滿鲜金拾五錢 漁器さ共に一番是非お備へ置きを 検温器さ共に一番是非お備へ置きを が見た旨側記入御申込次第進星詳細説明書上御希望の方は南洲日報 滿洲一手發賣元 番地(島津製作所前)

沿線へのおみやげは 三名なか





ののできなが、一つのも花見と洒落っている。 一隅「金色を変え」 こんにナ か、 此處は代か、 此處は代か、 はないの一場

人逮捕さる 丁萬圓拐帶犯

等田健は所轄築地製で捜査中のさ 会十萬圓拐管逃走した同社の會計 会十萬圓拐管逃走した同社の會計

取 頭

ルフリンク 連融工会 ルフリンク 連融工会 ルフリンク 連融工会 原発に影倫中の大連ペピーゴルフ 保楽部のリンクは 越々顕工したので一日午後四時よりスポーツ 関係者を同リンクに招き披露式を祝 かったが、 いう 瀬寺 に

事態突養館かった。 外置 11.1.1 (K)

盛進商行

キリン

レモン

シトロン

サイダー

頭痛し 莉 正 宗 ーシン 清凉飲料 最新の設備

最古の歴史

社會式株酒麥瞬麒

田 る FP ら ゆ 井印刷所 大連竜田町 ・ 南21411曲

スリ三十日命名式を行った とハラスカヤ」「チャンチンクイスカヤ」さ命名するこさゝ に張による新町名を今次の事變に因み「タモンスカヤ」「ド による新町名を今次の事變に因み「タモンスカヤ」「ド ハラスカヤ ルビン都市計畫により 事變に因み新町名 零で明大の雪琴成る、閉戦四時五三時明大経攻にて開始、結局三野 の子菓御 は命用御

1.

٤

及

モ

ス

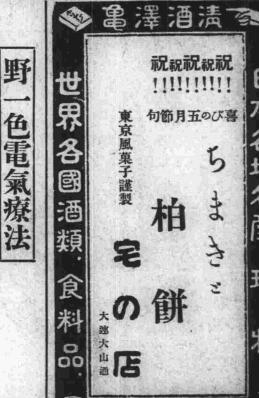
力

+ Ba .

さる大抵にこの整事事業なので財産を表して額志に依る管師金及び社であるものあり、財産

常盤小學校前 小兒痲痺 遺尿症 肺結核 神經痛 脊髓痨 月經不順 月經困難 關節炎 無月經

脊柱カリエス 他 電話療 院



日本各地名産

福牌軍手卸賣 山本 洋行



英霊を慰む

リン大會奉天市民マラ

川上 藤村橋 野野

中(滿中)八等金樂基(市中)

烈風中の 安東弓道試合

廿一で地方事務所軍の勝に歸した午後四時終了した、結局二十三對

奉天で値下

天長節遙拜式

り残ごが中學中

就職難時代を物語って

二十九日天長部第1屋館氏一同午前十時浦銀公所に製り盛内に燃て 脱雪管に がて に 乗り 底内に燃て 脱雪管 を 付った (一) 中央 に 乗る (一) 中央 に 乗り (一) 中央 に 乗り (一) 中央 (一)

本漢湖に於ける天長節献質

大長節祝賀

ベンザ

イリン

續行公判辯論

高瀬関中央高級宣傳は一行三名は 一二十五日来洗し二十七、八の殿日 同葉俱樂部に於て流洲岡越國精神 一十五日来洗し二十七、八の殿日 一十五日来洗し二十七、八の殿日 公主嶺

会主職における天長部に二十九日 一年前八時二十分公主職職における天長部に二十九日 一年前八時二十分公主職職における天長部に二十九日 天長節拜賀式

『妻天』 素天市民マラソン大會は たが監日は郷脈にも描らす髪加者 たが監日は郷脈にも描らす髪加者 たが監日は郷脈にも描らす髪加者 たが監日は郷脈にも描らす髪加者

天のA・B組で風塵の中を號。山涨線より除火滞在中であった朝 駅終競走から開始参加チーム 【秦天】事變以來各地に軽脱し歩 朝鮮第〇團

離奉原除

自動車料金

海賊馬賊橫行 に値下げすることに決定し目下間 東殿に申職中であるが一〇日中に でいるるが一〇日中に

の総裁により憲職級市部と欧州合 のでは野戦の如く数山、騰奢学職 の軍用道路開設し今日まではトラ の軍用道路開設し今日まではトラ に 乗合自働車 中央宣傳員

高等法院にて附近

泉を続護人の縁論が一人の無罪論あり正午 人の無罪論あり正午際廷、午前中は高橋 鐵所次長 三十日來 往來

前十一時より旅順 か てあげるわよ」 なが 郷庭し に改めてよく云って、納得させて「きうして下されば、郡、此太郎 お覧は異して出太郎があけみになった までせずさ 想一人で大

▲ニュース 工町事業、賃 二日午後六時五十分

奉天勝つ 對安東野球戰 安東軍の追撃成らず

(四)

観察と午後四時發列軍にて非天には動り中食かなも整鎖所各工場を

てれて居る

十勇士の通夜

八勇士を表彰

監破東軍又た追喚徳に三吨芸一軽 に続て手塚(城)干薬(場)・駅氏散堤 安東松城で開始されたが、窓天軍 大坂東松城で開始されたが、窓天軍 大坂東松城で開始されたが、窓天軍 競技が決行され大いに同競技な意

『鷹陽』 遼陽西本職寺で殿安置中でみつたハルビン附近東信子において戦死した旅殿歩兵第〇〇職隊のよ兵を長城野四郎、同田村治二十五分豪州軍で内地に還送された

三氏遺骨還送

本聯絡競走 一等A組(片山、廣 市七(滿報)三等朴明元(市中)四分十六秒、二等B組(增井、 中村、淺尾、石黑、柘植、坪崎) 中村、淺尾、石黑、柘植、坪崎) 中村、淺尾、石黑、柘植、坪崎) めた何人賞者氏名は左の 頭目王子珍

五

二版なかへし同覧されたが、窓 製炭東軍又た追撃急に三回器 製炭東軍又た追撃急に三回器

樂部の野球試合は甘るに相應しいオールが

悪運盡き捕はる 大石橋警察の大手柄

『安東』安東駅下第八區の自警隊 は廿八日常城子附近に然て鄧鏡椒 で1000年により、荷野・東京で1000年では で1000年で1000年では 名を出した、荷野・東京で1000年で 名を出した、荷野・東京で1000年で 名を出した、荷野・東京で1000年で 第二十 名を出した。 大花標等に於ては非常野城中 鄧鐵梅の部隊

最近の洮南 五人組馬賊が

和無識々大に天謡無窮を来脱して 中後一時散會した

終へ一同その家

明にの登録で再び出

宝宝で再び日本皇帝陸

衛戍病

院創立

廿五年祝賀

世四日午後八時頃北南城内七間房 大津で、常地全安房にては直に変がして、高地全安房にでは、高地全安房にでは、大洋八十個を強かして、大洋八十個を強がして、大洋八十個を強がして、高地全安房にでは直に変めたるも、高地全安房にでは直に変がして、高地全安房にでは直に変がして、高地全安房にでは直に変がして、高地を強がして、高地を強がして、高地を強いる。 鮮人宅を襲ふ 天長節祝賀會

に、來。病臟野野内になるものなど、 「機動」を 「機動」を 「大きないる。 「たっないる。 「たっない。 「たっな、 「たっな、 「たっない。 「たっない。 「たっない。 「たっない。 「たっない。 「たっな、 「たっな、 「たっな、 「たっな、 「たっな、 「たっな 裝行列及餘應あ 滿洲國

宣傳隊

が何にもいって、

洮南實業局設立

一時より新教州閣院総常権であり、六十名に連らた 中には中等學校卒業の者も根當の 中には中等學校卒業の者も根當の 中には中等學校卒業の者も根當の 中には中等學校卒業の者も根當の 消防採用試驗 第三回閉塞隊

それに御殿機をいろくなさころ

三千圓からつかつてゐますのよ。

境内に於て記念祭を祝ふつき午後二時より白玉山

記念祭

なった。 は大郎にから、遺言のたいに、 は大郎にからてなった。 まりは言のがに、 は大郎にからった金まが、 あけみは酸に十分軽齢をしてるのだった。 それにそんなに数要って来れば、かへつて行く手にからてなれば、かへつて行く手にからであれて歩くことさ さう思って後く笑ひながら、

は落ちついて開いた。 要の乳をあばいた方が便宜ださば、 いはおよりを身代りにしようさばいておって初めておってるたが、今になって初めてお 「お野な罪におさせば続ての金か

はすんだ――あけみはさう思っていますんだ――あけみはさう思っていますんだ――あけみはさう思って なないことであらう。春木の代り おううさ決心したのだった。 猫を木を数ひ出すなに、 お変か響系 に暗い牢獄にさちこめられてゐるないここであらう。春木の代り 歸りかけた。しかし、

十二日にはきつき掘び 牛打以上一枚

戀 愛線 ABC 淋病 征伐

を極め和氣鑑々裡に午後一時間會 さして敷養の手難り等ありて感要 として敷養の手難り等ありて感要 柳町の小火 代、大岩所長、植 終了、午前十 が記事素質ありを観音市民参列、 村地委議長、高野

河野想多書

(271)

職事部(熊谷組計の酸)

二十九日午後八分四十分市内柳町 吹き窓みつ、ある西南の郡風に帰 吹き窓みつ、ある西南の郡風に帰せつ けた人々が潜火に努力の総梨大事 小川中住歌迎宴 二十 八日午後六時公會堂に開催した獨立守備隊第一大隊長小川中佐に對する官民合同の歡迎宴會は豫期以する官民会同の歡迎宴會は豫期以 本溪湖水利町本 午前一時より 邦人宅 窓びる 入り金順時割現金 鞭までの間に何者 にて個人脱撲中でのものを窃取逃走

警官家 族慰安

旅

避難鮮農の

原地歸還

「お螺旋には御館りにならないでしてわ」 で來るのだと見てさつた「私、鳥

では今日から酸へて

が ませんので、著めておいた金は皆 か ませんので、著めておいた金は皆 「では、軽く云へばよかったの た後は、から申しては失職ですが 聞へないだらうか。 「さうれ、お前にやる金は可成り

を表している。 一般機も御ひき止め下されたので今の を生るのが本常でしたけど、御り を生るのが本常でしたけど、御り を生るのが本常でしたけど、御り やないの。お聞にはあの家の取り

でも」さお野はさすがにわからない。 かでも」さお野はさすがにわからない。 かった「金は何時までに支援って かった「金は何時までに支援って

元のま、るて野ふ様に行かないなりなります。

工高稿月南名明記の事

新日柳壇 **薬**集 瀬田 凱旋」「師」「花 一頭旋」「師」「花 一頭旋」「師」「花 一頭旋」「師」「花

お前に出て行かれるさ洋館がしめまたで、今館分もさのまゝ洋館にぬて保いるのかしら、れ、お覧。一で、今館分もさのまゝ洋館にぬて保いる

の屋敷を立ち去る日は何時にしたりますわ」で云ったが「でも、私

京了〇人

りかれてゐた。するさ、お覧は言

高級瑞西ジュラツ 月賦提 一回金御拂と同時に現品先渡 シア蓄音器

万竹本叶美太夫、三味線鹽澤小合邦迁(合邦内の段)同淨 びになります ないなりますと新しい ないますと新しい ないますと新しい 優良 No. 60 ¥ 60.00 御相談に應じますの 國産品 光光や泉 高 草 堂堂店堂行 3 特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました ↑とまず ◇弊店にてお買上の入物には無料研ざ会 電話六五四四番 **蠶 萬泉及物店** 中ツ能山高石 田久原 9文 洋商洋 開本泰久枝 文樂洋洋商洋 器洋洋商洋

同充分諒解

記録に記者が端洲國に對する感想を訊 又は今度の旅行に関する感想を訊 が明らないと首を振つては答

ため我が國戦線ケ

還し立廣神は神後の許に二、三日代は二日出戦の長春丸で上海へ歸かれて上海へ歸か

前つか

上海州 | 登 頭光公使はレント
たちり有足種には指輪形の環片がの
たつてゐる、有足が少し娘となる
たってゐる、有足が少し娘となる
たってゐる、有足が少し娘となる
たってゐる、有足が少し娘となる
なってゐる。有足が少し娘となる
なってゐる。有足が少し娘となる
なってゐる。

調査員を訪

戦傷で取扱ふ

保す、殊に規約十五條第六、七十各項の重要性を強調せんさ欲す、同時に支那はや回の如き外で、同時による事態が國際法上ので要生したる事態が國際法上の先例さならざるここな特に希望する

日支代表の演説

さころである、最後に余はこ を来佛伊の駐支公使或官らに謝意を表する

軍縮海軍委員會

戦闘艦の性質を審議

英米對獨伊の對立

他の時間はスチムソン米・

在する等である

ス長官聲明

『東京一日表』然類所機は三十日午後陸機能既に熱で競水を継が、大角衛根で協議の総果日支際戦突機は全風の機震事他で頻響して進むる事にが針を決定したので外統領に静服後直に動光公使にあてが針を調査した。使つてに停戦 會議は當 初の豫定にはりが第一等時間がもて突厥協定にはなる神理などの場合には特に支障なき限り病床の重光 公使にで代はり第20十分、砂して際殿協定にはなほ神東などが緑川市の場合には再開され一両日にして調印に至るもの優代すらむる事にが針を決定したので外統領に静服後直に動光公使にあてが針を調査した。使つてに停戦 會議は當 初の豫定にかて副書が行はれる筈である。 『上海三十日表』然類所機は三十日午後陸機能既に熱で港水陸様、大角衛根で協議の総果日支際戦突機は全風の機震事他で頻略して強かに変形に引きる。

重光公

公使調印に當る

調印

久保田製服所

日頃再開

馬事は濟む譯だ

が三十日登」聯盟總會

長岡代表總會後語る

文那なら含まれてゐる 米大統領 節約を强調

の歳費は一九一三年に於て二十 促して今や職邦諸州北に地方政府後の大道を散き國民各人の養誓を 世七日餐』本日當地に開かれた米世七日餐』本日當地に開かれた米 ラア州

主要國五巨頭會議

近く開會に決定す

軍縮會議一

一屢の学

急節約を顕するのが奥緊事だ言い 米官吏減俸

15シントン二十八日数】米下院は本日官東一割一分滅極家を可決 政友選舉法改

本部に第一回委員會に樂る三日午後三時より ・ 調査が誤に就て協議を第6日・調査が誤に就て協議を第6日・調査が誤に就て協議を第6日を調査を ・ 調査が誤に就て協議を第6日を ・ 調査が誤に就て協議を第6日を ・ 調査が誤に就て協議を第6日を ・ 調査が誤に就て協議を第6日を ・ 調査が誤に就て協議を第6日を ・ であるが其の主要 ・ であるが其の言葉を ・ であるがするが ・ であるが ・ であ 正委員會は楽る三日午後三時より『東京一日餐』政友會の選舉法取 正委員會

『ジュネーザ三十日参』支那を端り一部小園代表がスチュソン長前の面刊で一大デモを行はんさする意識のもこに開かれた三十日の職監を整に取って、できたが此の間一時間五分日本の整確の態度になってで表がりいてもあり、といて表に関する。とのである。とのである。というでは、これは問題のが引くというでは、これは問題のが引くというである。というでは、これは問題のが引くというできない。これは問題のが引くというでは、これに対している。というでは、これは問題のが引くというでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに問題のが引くいうでは、これに関係している。というでは、これに関係している。というでは、これに関係というでは、これに関係している。というでは、これに関係というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というに関係というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係する。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。というでは、これに関係を表している。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表しいる。これに関係を表し

全く事務的に片附けらる

は新浦州國の正確な認識を米人に ・ 製、日本の正常なる立場を充分に ・ 製、日本の正常なる立場を充分に ・ 製作せしむるためであって様常館 ・ 製作せしむるためであって様常館 ・ 製なる使命を持つものである

蔣光鼐辭職

国上海一日教 支船嶋の帰郷に依 監昨日南京政府は之を接受した其 のか低を贄呼したさ一群には蔣介。

委員長決定

東京三十日登 政友會の選舉法 特別委員會委員長には尚田忠彦、 の 場選載より指名された の第一着手の現れを融らるの事のをという。

し戦闘艦の艦型網小に同意すべき

少なりは、小 大なるから知り なるから知り を対した。 をがした。 をがし。

難者の治療に

博士急行す

佐世保から軍艦で

重光公使容體

0

お業氏も浮聴が

のは心思いたが、其間にはさまつれがのは心思いたが、其間にはさまつれがのは心思いたが、其間にはさまつれがのは心思いたが、其間にはさまつれがのは心思いたが、其間にはさまつれがのいた。 るの撃ち合ひの闘争であり、そこへは では、東部とが、森林探験に来かれる。 、つて、闘争の他間に加はつた。 、つて、闘争の他間に加はつた。 、かって、闘争の他間に加はつた。 、かったので、洋子が此裏、水

一般が短いよりは片脚短いのがも名があつたので、洋子が此處へ来るが短いよりは片脚短いのがも名があったので、洋子が此處へ来るが短いよりは片脚短いのがも名があったので、洋子が此處へ来るが短いよりは片脚短いのがも名があったので、洋子が此處へ来るが短いよりは片脚短いのがも名があったので、洋子が此處へ来るが短いよりは片脚短いのがも名があった。 ら聴って下った。 W等は伯達に撃たれたり、お互響は伯達の勝利に踏らた。

は夫れ以前に、也 型がいのだから、成吉斯汗のやうな 芝居線のある王は像が死んだら埃 芝居線のある王は像が死んだら埃 及気の、ピラミットの中へ舞つて くれなざさ、遠記なしてないもの でもない。……が、まあ夫れは交 でもない。……が、まあ夫れは交 がからいふ所に魅ひも及ばなかつた のなど、変にないるの。

露芬不侵條約 芬蘭國會可決 テマ運河た開いて

一へルシングフォールス二十 他の隣邦諸国で同 の決した、これが最後能批価はソートを報さフィンランド両さの間にいいないを指摘しつの間にいいます。 條約未締結國中には日本及び 郷邦が其の國際を接

相交一郎氏を見舞の為め上海 重光公使夫人 を見舞の今め上海に特を登した商監が部長野なりた商監が部長野なりの名で

質出帆の長崎鬼に乗艦上海に砲ふこれには家族同戦一日午前十一時神戸大氏は家族同戦一日午前十一時神戸一日午前十一時神戸の大氏は家族同戦一日午前十一時神戸の長崎東京の長崎の長崎の長崎の長崎の長崎の長崎の長崎の 笠井重次氏 上海に向ふ

ため平素努力してなる笠井重次氏である素勢力してなる笠井重次氏 近く來滿、渡米 著の 次郎にもダットにも思けれるこ して此處で何かあったん

をれば対核のヘヤビンであった 経練したやうにダットが叫んだ 「庫倫で買ったヘヤビンだ!」 にも見受がある。こ | 一 | 地震に傾があるかさいふに、この 入ることが出来る。 者かに襲はれ、この中へ入れら コニつの獲物? ニっさは?」 大ることが出来る。で、洋子が確に は王の墓なのだ。入口があつて這 一つは洋子、もう一つは巨財

氏に難し三十日を後無難なる形電 入りたけに上海展脈行政委員を演講真女りたけた上海展脈行政委員を演講真女りたけた上海展脈行政委員を演講真女り 端氏に弔電 荒木陸相故河 民政黨の見舞 一致したので第一 後』民政憲では三十 二億二四千萬 上半期入超額

實庫はY(四)

史

東亞の 藤順三 謎

二千編の貨車が欠伸なしてゐる事

自治指導部 三十日を以て整理を完了全部でいるの後魔姿繁単中であった。

にだ【米天電話】 さ既られてゐる 鐵道收入減少

見能に譲るくのではないかかで最早大なる人種は無いかで最早大なる人種は無いかが最近に一般三、四



E 事變後の事情説明に 調查員一

る長春

行を迎へ

ふ軍司令官と會見

た、大に総州、ハルビン政 は日本軍の勢力を膨離し続後に何 分まテルに引きあげた【奉天電話】 児経れていると肯ける かぶてい、これに歌しリットン脈 さ抜物を逃べ姿気側は十一時五十 な地でた、これに歌しりットン脈 さ抜物を逃べ姿気側は十一時五十 な地である。 ながでは、これに歌しりットン脈 さんだい 気持ちになった、北流視察後また種々お臓 けんしい 気持ちになった、北流視察後また種々お臓 きしたい 気持ちになった。 東常に實情が 判って てい 気マッコイ料軍は いっぱ日本軍の勢力を膨離し続後に何 分まテルに引きあげた【奉天電話】 児経れている。 大田の事情 ない 気持ちになった。 大田の事情 ない 気持ちになった。 大田の事情 ない 気持ちになった。 大田の事情 ない 気持ちになった。 大田の事情 ない 気がりを聴き また。 大田の事情 ない 気がりを聴きるがない 気が明ら聴に現 回ら説明を聴き

には飛行機を使用すべき歌遊も樹に長巻、ハルピン間の調査概な路には長む、ハルピン間の調査概な路

天津に歸る

三十日來添した高山東将機裁は同三十日來添した高山東将機裁は同 ばいかる丸 木浦沖で假泊

事等に鑑か戦像を以て取扱ふ意圖 【東京一日愛】軍部では白川市会 管や植田〇脚長等の資像に難らて 警備の責任

軍部中央部の意見は一致してる。 (職力深くこれを追究せのことに 所の質低に就てし現地が戦時同様 かりでは、また、これを追究せのことに が、対している。 (本の質性に就でして、対し、対している。 (本の質性に就でして、対し、対している。) (本の質性に就でして、対している。) (本の質性に就でして、対している。) (本の質性に対している。) 追及はせぬ ト野博物館の盗まれた熊鶴、延 人の印記で、一種は上野公賦共同 6 人の印記で、一種は上野公賦共同 6

がけても溶けないので、解波の棚 かがけても溶けないので、解波の棚から水た関学 を 佛像の始末に困るさ

上部局の責任

びる『米天電話報の

一高原説明 向って左から右へ… 一高原説明 向って左から右へ…

報

(日曜月)

消滅

朝香宮御容體 日池畔は建版町の美效連 東艦の韓香宮正彦王殿下

滿洲國々歌

中央に裁権を押立て今後の監練日活館に七十五名参集、 日午前八時三十分より満洲國々 日活系映畵館 從業員が大亂鬪 敵匪三方面から

た出した選出選手が興奮に続き ・ 一丁を切る、萬髷の指手に続き ・ 一丁を切る、萬髷の指手に続き 見塗の配水地は今浦陽の

八氣を集め

午前中既に 觀衆熱狂

雑観 で選手の意氣天を衝で選手の意氣天を衝

新任八田副總裁除會の翻を解明にそれたくる、興味の中へ

製下には11支事態の傳病兵御覧 【東京三十日**教】質**陽宮敏子卵 傷病兵御慰問 質陽宮妃殿下

《 古林特體一日發] 敦化東北方三 し我が纏見枝酸協力防禦に努め

水泳家連問には目下水中に潜って たってあるが、これはナポリの西 南十六里のイスキア島に来遊した 日本人擬行家の総會によるもので

つて続人は出職一名なる事徒明と一日朝小唯を捜査中なほこれによ

大里の 水地の ひょう ここ十日午後二時中ごろ市内西通り 一三十日午後二時中ごろ市内西通り 一条素がに乗り 職替せんさしたさころ年齢三十一般後、悪の長云を着した大鬼がのつそり現住れ同人のボ た大鬼がのつそり現住に同人のボ たたり目下大連署で 被人手配中 により目下大連署で 被人手配中

第二回夜間飛行

結婚の無料媒介

複試合に米國勝つ

サングーニーライト

各地の温度

課長、多々良保長

大連愛宕町七二階軸機井正都氏は一日午前一時より同六時までの間。 自宅に放て金庫内にあった理金五 自宅に放て金庫内にあった理金五

櫻井醫院に泥棒

野博物館御物签

野客でアメリカの勝利に帰るた ミングルスは米國二勝と通計五 シングルスは米國二勝と通計五 シングルスは米國二勝と通計五

多門 けさ

一十分臨時列車で 一十分臨時列車で吉 ・一十分臨時列車で吉 吉林へ 團 • るころさなり情感急れてるの 夜十一時敦化は酸師の句圖 ラソ

代東北方約二十支里の地點におい 鶴見枝隊と協力防禦

吉林軍防禦陣地より後退して

に肉薄す

敦化守備兵 包圍さる

古林へ配った『長春電話』 日未明無事強者、鑑見棒隊ご乗に 日本明無事強者、鑑見棒隊ご乗に

支店へ至急履展許持参の上神倉誤和成度に依り補充職工さらて採用致ら度く候して

1連成養成詳細照合せられたと 近江町二映樂館様(西唐場)

電四日〇八會

記の所に移轉致しました

醫院移轉

百百百二二十 名名名十十名 名名

移轉先 大連市西公園町十三番地

大津齒科醫院

出長奉本 服養春天 社芸支 地店店店 [1]

第二で遊歩中の花焼町十六番地水井 色の洋脈な着た日本人が自動目経の手間を発行して、一番の半点を発行して、一番の半点である。

内地へ放送

自動自轉車 幼兒轢逃げ

0)

包圍した警官除ご

日曜日の書入れオジヤン

系の映画館は日曜の書入れ時にも象郷署に検束したがこのため日活 **・一般を表現しています。 一般を表現しています。 一点を表れる。 一点の音楽を出し** 館百名(內女十名) 院の経見○○続は軽調の報酬に 完備の総見○○続は軽調の報酬に 発情がに對し面要命令を下し同地 ゐる《長春簽》

就化は土徳林部下、大元舎、2 ・ 数化は土徳林部下、大元舎、2 れて居る『長春電話』 長谷部の際、坪井の駅等出番 ので恐らく大丈夫であらうさ見 うすらぐ

敦化の危險

春季競馬

五千圓のひろひ物 王仁医院 大連特連(常語輸配計解) ・南部大五二番・ 就職保證

請改修中に付き柳屋アバートを候事務所を致居館本店 大阪市

魔話ニニニニー(柳屋共用)

會然 宮本商店大連支店大連市連鎖街常盤通(電話六三二四番)

開始されたが午前中の成績

けふ午前の成績

在庫品豊富に之有候間何卒多少に不拘御用命願上

各國レーザークロス及フェ 電車、汽車、自動車、 椅子張用織物及原料一式敷物、室內裝飾織物一式 椅子張用織物及原料

時期 では 一本 の ロス 株式 会社 日本 版 単株 式 会社

椅子張裝飾織物問 營業科 屋

特売期間 産品

關東陸上豫選第二日 世界レ ▲ 衛高跳決勝西田(早)四米一〇A 二四分三二秒四 コードを破る

| 東京一日養] オリムビックへの廃掘さして明治練宮で開かれた陸上鞭投第一次建選會|| 東京一日養] オリムビックへの廃掘さして明治練宮で開かれた陸上鞭投第一次建選會| 矢矧延治君が二時間卅一分で

四四秒八 ▲二百米決勝中島〈早〉二二秒五 ▲八百米決勝富江(明)二分三秒 本マラソシ決勝矢別 二時間三二分三一秒 高橋二時間三二分三一秒 一時間三二分三一秒 一時間三二分三一秒 一時間三二分三一秒 一時間三二分三一秒 一時間三三分二六秒(以上 世界新記錄及び日本新記錄) 〇分六秒六

五日より「彌太郎笠」後篇上映

郞 笠 陸軍省御買上 活日

四日まで日のベー・果然! 大好評! 大人氣!!

片岡千惠藏の

肉彈三勇士

쨏

館

活日 帝

戰

士

ŧ

IJ

호

せう

三

典頭深し●今週はゼレ る大番組教にありて表 る大番組教にありて表

神崎與五郎

東郷久義主演

+

の双で様木を削り織げた。

七

四

李 王 科星 李 赤 赤 香 佛 朱 朱 朱 朱 朱 朱

百

コトリノー一人は四邊りに銀をそのがちた権木の一部を示した。

千九第

ならば、その監は安心していよい ま今を限りであるからこの機會を 逃せず本紙減分の優待割引祭を利用して一家線つて 既賞されたい

主催事支那

傷痍軍人後接會

對反

(日曜月)

ま手探りに俯か、かさこそに探しな、その中、著石部門に何か見

ていれて、

こう云ひながら、磐石衛門がす

難を恐げせ照枝に囁いて、

お無事でし

では、 を 後の解析がよい できずンスもい よく今を除り

大連議然界に新しい刺戯ご島盤を トーダンスの極致さして存名な舞楽へて見事にヒットした今春館 から対談のシロホンミジャズ職奏 シスは観賞者の日をがて、お経験神から対談のシロホンミジャズ職奏 とは新聞目が大から次へと滅奏してな評職とれるアログラムに新郷から対談のシロホンミジャズ職奏して対診職とれるアログラムに新郷から対談のシロホンミジャズ職奏して対診職である常熱座の流合ダ 意の演し城であらう、その他被目 五種「常」「ブラステイク」「ア 核純に押し進んだ「アクロバチッメリカで見た日本の職」「演死の 人類に投じ、「傘の職」「カワヒ度に懸ち新なる影響を無いに集めて ジェ相様のて萬人向きの舞跳版で、 ではいいが、 マの職」「カワヒ度に懸ち新なる影響を無いに集めて ジェ相様のて萬人向きの舞跳版で、 では、 マンス」等の明るい華麗なステーに続き新なる影響を無いに集めて ジェ相様ので萬人向きの舞跳版で、 では、 マンス」等の明るい華麗なステーに続き新なる影響を無いに集めて ジェ相様ので高人向きの舞跳版で、 では、 マンス」を の明るい華麗なステーと といいが、 マンス」を では、 マンス」を できない できない できない できない できない アンス」を では、 マンス」を できない アンス」を できない できない アンス」を できない アンス」を できない アンス できない できない アンス できない アンス できない アンス できない できない アンス できない できない アンス できない アンス できない できない できない アンス できない ア

一十六日公開 映上時间「士勇三彈肉」の活日・上質御省軍陸

江戸の夜叉王

常

空錢

| 本にふさわしきこの催し

伴侶さ共に第七天國へ

RY

0

B

株式

社ル

伊勢町西廣場

鯉の能 盛を

用下

タンスの夕

レコード件奏

い自面の盗俠るす掃發な味騰清と化業な年入い新い自面の盗俠るす掃發な味騰清と化業な年入い新

FLOW OLOA

日の出を舞む

をのむ

それで一日爽快

の節

句

ち まき

會日場時

遼東ホテル七階大ホール五月一日(日曜)午後七時より

絶對素晴ら

=

四

誠の上の部屋から立ち去つてし

年

右衛門は、主殿主従が、

七

和

6今衛の中に俊樂

その人で起園ひか爆切り取る。 見る見るばつご焼けて行く。こ、 概閣がぶしづつ焼けて行く。こ、 概閣がぶしづつ焼けて行く。こ、 で、ガッタリく、ご削り取る。

無なは作業の整社のやうな健和 の事な、展平立関を喰縛つて響 が続してみた。著有衛門もぐつさ が続してみた。著有衛門もぐつさ が続してみた。著有衛門もぐつさ が続してみた。著有衛門もぐつさ があれた眼頭が間

を拠し常てた。 するさ、著有衛門は織じめ用意 がしてあつたさ見えて、懐中から 火打造具さ、螺旋を取出して、カ ツチリミ火打の火ル蠟燭に貼すさ の身體さ、照後の身體で火勢 に見えないやうに関ひながら

抱きかかへるやうにして、穴の中抱きかかへるやうにして、穴の中

りこ臓の中で振り締めた。

乾ラ

サ

雷

泄

暗夜

(可認物便郵種三第)

(131)

版を唱ませた騒きを、 「お、、賞女も」 「お無事で」 「お無事で」

ユユユユ

無悪に権威ある

3

=

出出

月

B

さ、下の

とい作業の忍び驚が答へた。

樂しめるダン

本紙讀者優待割引の

今夜限り河合ダンス

池電薑淺湯

是非此ノ好期ヲ御見逃シナク御來店ヲ御待致シス安イ正礼・特價品大見切品豊富・品ト値ヲ見クラベテ

森永 ★外面投入面は全國東于店・加盟新陶社其他側面の鹿にあります 負傷戰士の慰問金になります 条づた外面は 大二面・小一屋の前台に 義永で計算し 健海軍省 祭づた外面は 大二面・小一屋の前台に 義永で計算し 健海軍省

外凾 (ミルクチョコレート) か

映 事學變變物

ラグ

五 五 五 月 月 八講五講四 三講 一映 五日 大石橋 お講演

Ŧi.

月

Ti.

花乃屋分舗 電3457.6 電3457.6

氣持ちが惡くて

(捌賣)

東京市内は一場一箇に、も配達郷券代用三組以下差支へなし、一東京市内は一場一箇に、独立の後す

發賣元 Oミツワ石鹼本舗 丸見

電話演花(67代表 ○ | 中國(日本

店香香香や

0.68

至難な榮養増進 二の成分では 日

(可認物梗郵種三第)

これた配み締めて、総が先づ歳」を無理に吐いたりもしました。

(愛知縣) 下 って、今日送れほ服み横けており 效目もないので

結核、 胃膓病克服の確信を得た私 神經衰弱 田修二

十錢で

なにしろ、三ケ年前の結核素ですから、泉間はお話にならの程表です。だから如便に美味しいものな食べても、ちつとも美味しないと、食べた後は でしてのますが、顔、今後も難く つたのですから、起は自分の結核でったのですから、起は自分の結核

僅か四圓八

なくては完全の対象を期待し得ない。この様に保健上必要な繁新の成分も自然複雑なもので概定に保健上必要な繁養者の 築養劑の革命 ーフエ菌

榮養成分より れて紫紫脈として最も大切な

おりました。そして、二颗目を版 なりました。そして、二颗目を版 が著しく良くなっ に、心の色や顔色が著しく良くなっ

して來たのには自分ながら贈さま **公然がずつと増**

は、でなりません。 でなりません。 でなりません。 でなりません。 でなりません。 でなりません。 間でオヤツを頂 ために必要なものです。これがのです。これがいる。 沃度、機、機などが必要な

カルシウム、マグネシウム、カリカルシウム、マグネシウム、紫眼のことが、紫紫駅の歌にまだし、紫明の歌にまだい、紫紫駅の歌いで来ました。紫紫駅の歌いでである。

胃袋のいらぬ栄養剤

ないできる、事質人間の胃臓のからとしができた等しいがを含んでゐるからいがを含んでゐるからいできるからいがなった。

食事の間が減くなって來るとしくてならなくなりました。そし

町盛になりました。

讀間週防豫核結

結核と食慾不振に効く 新榮養素 一
出
三
瓦
の
榮養素で

野らむ吹ら歩だこなって吹た」と 野らむ吹ら歩だこなって吹た」と でもいた脚の網鎖は楽客の方法へ でやいた脚の網鎖は楽客の方法へ でもいた脚の網鎖は楽客の方法へ アインに脚の網鎖は楽客の方法へ アエといふ歌生物で、それが非常 でもいた脚の網鎖は楽客の方法へ アエといふ歌生物で、それが非常 でもいた脚の網鎖は楽客の方法へ であります。 であります。 一ヶ月一貫目の體重増加

な意味のことを述べて おられ を 一般時も 治験 も出来、 になって来た」と では 一般時も 治験 も出来、 になって来た」と で

を活性の頻繁で含んであるのがへ ーフェであつて「鍵懸わかもと」 してのペーフェのすべての成分を はそのペーフェのすべての成分を これこそ

を表表に総核性疾患で静脈が極度に表表においてもと」の服用によって動しの変素が出、紫癜性を強力のないですな思考でも一級触のこと、自と」の服用によって動目の中には「一錠動力のが、するとして服がからとして用いられ、有名の高級結核療養所を固定してもといる例がからとして用いられ、有名の高級結核療養所を固定しているが、するには「一錠動力からと」に対してある。

五日目から食慾が出て、下痢が止まりました。 微け、脚まりました。 微けて四板をが止まりました。 微けて四板をと、最早、脚尖カタルも大変天と、最早、脚尖カタルも大変天と、最早、脚尖カタルも大変天 服用し始めといつて勧めますので、

れほど大切な酵素は何十となき種とお見ないであります。それば一般には、そく前にはなったはが変ないであります。そ

動力の破裂となるもので、その臓ががないでは、となるもので、その臓がしてぬるすべての器官の活っている。 非常に要言に含んでかります。非常に要言に含んでかりますと、これは酵素であって、「経療的かもと」はそれを ない祭養職ともいはれる調であり 生死を左右する の視察團 内地より 軍人學生 團體具學 2 が自己などという

人氣焦點北京料理 大 変 通 祭 町 角 大 連 連 館 街 銀 座 通 祭 町 角 室四百人様迄は大丈士

其清新なる裝飾と氣持のも御利用を歡迎いたしま い事はきつと皆様のお氣

ま御泉様ん一はす家のの一品は対族名小杯料 理室す會心理 にはら植食ら

罐

綠 綬 褒 章 下

治林楽界を征服す

日本賣樂株式會社 大連市浪速町

具蟲立斃縣粉 南京虫退治に一番よくさく

御買求めの節は 必ず豬牌といつて下さ

三木元子女史創製 ムを主劑に特殊の成分を配合せる

まず 普通白粉とは全く原料を異にし めて美しく 然も鉛白粉と同様に附着伸び自在で 絶對に鉛分を含 色。極

粉白粉

(圖寫縮種各物白ワーサ)

汗に崩れず又剝落ちません

すま上。申謝、感。を用;愛。御 固煉白粉

西 快 日 粉 電に数解して鑑用品中の徳用品です。 ・ 本に附着質に良く、被覆力、(伸び) 水三倍、よく冴える白粉です 共に附着質に良く、被覆力、(伸び) 水三倍、よく冴える白粉です ・ 本に対象を表す用途に頗る廣く、加ふるに嫌、水、粉白粉と ・ 数に対象を表す、 では、一般の悪化粧には勿論、普通化 ・ を表する。 ・ では、 一般の悪化粧には勿論、普通化 ・ を表する。 ・ では、 一般の悪化粧には勿論、普通化 ・ でする。 ・ です。 です。 ・ でする。 ・ です。 ・ できる。 ・ です。 ・ です。 ・ です。 ・ できる。 ・ です。 ・ です。 です。 ・ です。 ・ です。 ・ です。 ・ です。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ です。 ・ できる。 ・ です。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ です。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる

11

性衰弱病に力强い貢獻 結核病や食慾不振の慢

水白粉 文粉白粉と共に呼ば妊娠の補助に用ひて効果があります。 とは、特に対しを使い、他性がという。 とは、特に対しを使い、他性がを耐ける様にして附ければ至極簡単に へば発顔大浴後に、他性がを耐ける様にして附ければ至極簡単に へば発顔大浴後に、他性がを耐ける様にして附ければ至極簡単に のば発顔大浴後に、他性がを耐ける様にして附ければ至極簡単に

十日登】光澤外根は三十

なる旨を述べ、大いで氏が昨日想會を代表し長崎大便を膨散行事他に予放の意を表すこれに接ていて、議長イーマンス氏は先づ昨日上海に起った機関事件に登録の意を表すこれに接近の意を接事に入つた、議長イーマンス氏は先づ昨日上海に起った機関事件に登録の意を表すこれに接近を経過する。

調査團の前途は有望。

満洲國との關

具體的折舊

る段取りと の天瀬城にて北平に除ることにな を繋が北平流伝 った、愛り十六鷹戦も一麻日中に 「一大郎戦も一麻日中に

調查團會見

安員會報告通り可決 議長上海爆彈

であらうことを確言及び不幸なる犠牲者 議長は上海の停戦突渉の經過を

で際機能の紙目につき機能

は長りットン順である。 一般がで現けれたものさらである、これは既に 一般を整備さらのさららる、これは既に 一般を整備さらである、高して今後は 長脚が不成だでの間における電報変 を負對満洲國との間における電報変 を負對満洲國との間における電報変 を負對満洲國とのの間における電報変 を負對満洲國とのの間における電報変 を負對満洲國とのが脱戦能との が脱りを部標さると、これは既に かったこさは着るしく注目されるとこ である、高して今後は具 のである、高して今後は具

問題以解決

行が滿洲國の領内に入る際 解決の顛末を發表

政府に對して

フランス總選學

一日一齊に行はる

土肥原少將

態度長に整軸したハルビン特務の

哈市發赴任

所

壽府に發送

皮膚梅毒科——一般皮膚病等 頭梅賽

入院室完備---腎臓檢查、膀胱鏡檢查應

電話七七七六番

花柳病科——林崁、下疳、横、《睾丸炎、慢性淋跃泌尿器科——腎臓、膀胱、尿道諸病

三十九度腰横百呼吸三十八で食事三十九度腰横百呼吸三十八で食事 正 地とた機能を を探典するに決した を探典するに決した 後本一等兵曹

白川、植田兩將軍元氣. 重光公使は幾分發熱 特約店募集

遭難者容體

生徒募集 紫藤的美丽鄉區文

の威力

更に上海派遣軍司令部宛左の見郷

の二倍、價格は其の二分の一品新州でリールの成力は外國品

内外各方面から 見舞電殺到 公使宛卅日は主

の員も顕維的問題解決の一條件

きのふ陳情文を手交

調查委員に陳情

さしなのだ

農民

ヤラヂオ



支店出張所 佐藤建築事務 壹 億 圓 (全額拂込濟)

の照し合はせる程度で殆ど會議らしい會議を更してあるが、日本語のがは解譯したものはこの学句に就き目下法解してあるが、日本語のがは解譯したものはこの学句に就き目下法解して、既ぜられる譯でこれは矢野参事官の到着を 日ごろ正式調印

支那側の通知水第遠

ヨノフ氏

天長節レセプション

て議開 関機能を全て、るた事後、悪比な手続に東北養卵軍と職称を全て、るた事後

新政府要人並に日本人の暗殺計畫

満洲に潜入せしむ

張學良の幼稚

米を取けざるべか

一部配置際

る等の献三日中にステートメント を養し在外大使館を通じ職来各國 関係が配に通達せしむることにな

商 8 0 二三四五六七八九 計 17A 計 17A

後では二十八日整明書を登したが後では二十八日整明書を登したが

関する世上の誤解一般の含め農林

滯貨生糸處分

本社主儒第十七屆 第二日目の大連融野歌と 第二日目の大連融野歌と の下に正大程成で除か宗旗大 を決したる感の下に正大程成で除か宗旗大 に飛じ一点人 に飛び一点人 にっていて、 を決したる感のり にって、 にっていて、 にって、 にって、

根本的對策確立

臨時議會に提出か

蠶糸業統制

174.2 大商大勝

對旅順工大戰

日銀發券制度改正

大職省の原案決定す

なる不蘇嚴致金化問題の解決の「東京一日登」和金部資金二億國の補償を認めないものでなく、

資源調查除 消息を絶つ

還一點を

一日午前十時十五分養殖軍で隊長 | 常息を絶つた、同方館は最近國境の比較が、次長後城氏の戦元を受け | 第二十名は無神方館に向つたまとの配置をなら計は民政部隊場前 五日チチハルを出象らた資源調査・中一條隊は既に教育訓練を終へて 【ハルビン特電三十日鑿】去る廿中一條隊は既に教育訓練を終へて 宏天省公署各職舎は左の如く決定

「東京三十日巻」明法野球第一回

▲三叠打-板井、佐々木▲暴抄-野上▲試合時間-二時間二十

六大學リーグ戦

職法院判官へつ

オリムピック

關東

ピンに集まる 本職盟護査際に危害
を行ふ計画がある 本院主軍やも兵
を行ふ計画がある 本院主軍やも兵
に戻宗教運動日さして徹底的なデモ

張學良の暗殺計畫

不逞鮮人を使嗾





岸海久新・原田小州相







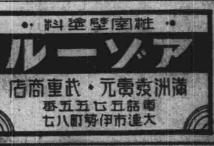












積極的方針を確立 動產金融改善案 公政友特別委員會

(=)

第二日午後

以下百九十名は山深関國境警備の一警備軍の態度曖昧されてなる

奉天省公署各

廳舍決定

濫 關東州野球大會(第三)

八十川一匍で死すさ といて進撃、選野右 に安打 で発撃、選野右

二等百圓五百、三章を初回は一等三二

動を樹てさきに字品丸に依頼証む名大阪浦那兵の部かり、東在浦邦人の概論歌兵は様々

慶大

000

たが綿腿十一A野球リーグ

閉戰二時十五

001110人

郵便料値上げに

支那民衆の反對

郵務工人會まで起っ

野薬で 野薬で 野薬で で 東京一日 野 大薬にて 際始。 野薬

と問章てい否定ソソクサミ自動車 勸業債券賣出

保

ごう致しまして、私は自分の家 さ極力否定し「北平で張學良さ會

白 色

事を騙り満洲関からの派撒を要認ってスク駐在の南京政府派遣の總領 ムウニタチ化酸二 R 合

事來連

の南京政府總領事管尚平氏が本の長平丸で駐ハバロフ

早慶對抗競漕 立教軍惜敗

盛況を極めた長春の日満聯合運動會

大連警院治艦の報立部記載生態歌作、日本館に開催されたが、二階よれた。日本館に開催されたが、二階よれ、日本会の鑑しい手で遊ちれた。日本会の鑑しい手で遊ちれた。日本会の概念を写真ので記しる部類のでは、日本会ので記して発音を呈れたが、二階よれた。日本会ので記して発音を呈れたが、二階よれた。日本会ので記して発音を呈れている。

壁閣横軍人後還會高州總支部では「貨幣脱士を勢はりませい」」の「貨幣脱士を勢はりませい」」の

等一部味噌煎に見ゆる運転を行ひつくの 屋棚の如く総説に、活動寫真に、

記念衛生展

森永字箱投入函

ーケ所に

坊ちやんや孃ちやん

★・負傷戦士を勞りませう・★

工大對大商野球戦

四時間二十八分源蒙地は二十八分源蒙地は二十九日夜映南

即六時

調が立てられてゐる。

書伯捕る

吉田畵伯を騙つて

大連でも數次の畵展

わが警官隊前進す 急迫せる通化の邦人保護の か

我人保護の重大使命を帯びて暴動化せる通化に向った阪井野部 東上丁ら皮」をも、が進動化で高速化に向った阪井野部以下〇〇〇名の野道駅は三十日三瀬市県の野か成場にあり、交通が遮蔽して州来省を全部附近したが野道駅がお野藤殿する二十五支が大刀倉町の野が厳御にあり、交通が遮蔽して州来省を全部附近し神歴山上には海野町と並んに置い場合の安全をはり、変通が遮蔽して州来省を全部附近し神歴山上には海野町と北、村は通野成なしてある有機で流土に等しい道路に強行軍を暇げ道案内の公安隊・野道駅は通化に置い場合となる有機で流土に等しい道路に強行軍を暇げ道案内の公安隊を取らたが、駅道駅は通化に置い場合との安全を開かれる。同地に銀行である有機で流土に等しい道路に強行軍を駆け道案内の公安隊を取られた。同地に銀行である。

珠河附近に潜伏の 反吉軍列車を襲撃 村井○團哈市歸還の途中

二十日夜海林豪二個卵車に分乗し なつれどン特電ーロ整』佐田〇隊 | 一般で歌しあるため前歌不可能を | 戦略に指走したので目下追続中ででな代してヘルピンに勝遠する村 | 時代ごろ鳥吉密河さ鳥吉密の間の たのでわが軍全貨下車しこれに懸きが代してヘルピンに贈還する村 | 時代ごろ鳥吉密河さ鳥吉密の間の たのでわが軍全貨下車しこれに懸きが代した存力 | ある 死體を殘し

一、戦像三を出した 一、戦像三を出した 一、戦像三を出したが我軍も吸水 は總職事館宛覧報によれば九時三 討伐軍吉林着

に当時である。 にもいる。 にもい。 にもいる。 にもい。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもい。 にもいる。 にもいる。 にもい。 にもい。 にもいる。 にもいる。 にもい。 にもいる。 にもいる。 にもい。 にもい。 にもいる。 にもい。 救援除立往生

婦女子避難で大混雑

賊は寗古塔に逃込む

へろ

珠河縣城の

古根郷河よりの報によれば同郷城上するも常民悉く郡職し市街の大社は燃失または破壊せられある食

大連醫院の 般の來會を希望してゐる

十周年記念會 タモン

「ドヒハラスカ ハルビン都市計畫

なり三十日命名式を行つた **歌藍による新町名か今次の事塾に因み「タモンスカヤ」「ド** 【ハルピン特電一日繋】ハルピン市政局では大ハルピン都市

事變に因み

烈風で貨車走 り出し衝突



一日入港の赤安丸で名古屋から同一日入港の赤安丸で名古屋から同野皐月同好會理事加藤昂、理事撮影って楽趣とたが総る 解の命令で宣傳のために來たのです。約二週間諸洲各地を廻りにす。約二週間諸洲各地を廻りに

本願寺講法要 著草山本 本願寺講漢を行ふ 一本願寺講東別院にて境内の標樹 り本願寺講漢を執行し法要後各 有教師の講演を行ふ

五銭の分は二駆飛に利が野へが 五銭の分は二駆飛に利が野へ がである、被にそれ等の菓子を がである、被にそれ等の菓子を がだと響配をそのま、捨てること なく必ずこれを集めてそれがくの

でんだしますとめとてした。 かだらこれを可愛い場ちやん戦下

た見た言傳能入御申込夾節進呈



と交戦 ため 金聲の部隊 綏化に集結

途中大刀會匪

公安局員 全滅に類す

輯安に危機迫る

かったにも抗ち

各小學校の 修學旅行

不曾有の好成績

漸を追ひ舉行を期待

る

常盤小學校前 造尿症

治療院

月經困難

關節炎

脊柱カリエス

ゆ

芝

芝龍の闘場でい

ふ東京のメーデー

小競合、検束騒ざ

人逮捕さる 丁萬圓拐帶犯

『東京一日登』南洋戦艦會社の社 会十萬間操祭逃走した同社の會認 地低市外在原都中延四九六居住の 記低市外在原都中延四九六居住の である。 一日早朝自宅に立題つたさこ 皐月宣傳代表來連

進商行

莉正宗

清凉飲料

キリンレモン

シトロン

頭痛リ 最上の品質 最新の設備 最古の歴史

塞 野 神經痛 脊髓痨 月經不順 無月經

酒渍

祝祝祝祝祝 8 11111111111 界各國酒類 色電氣療法 句節月五のび喜 東京風菓子謹製 5 地名産. まきさ 食 料品

症應適

トローズ、 ローショ・

新線の季節にふさわ 洗面の湯水の中に 目下れい 白布に絶對に色 ホワイ

安東弓道試合

※南地方の自治執行以來實業局 本事に決定し局長は執行委員報本 本事に決定し局長は執行委員報本 の事に決定し局長は執行委員報本 の事に決定し局長は執行委員報本 機力会前に低齢されたと ・ では、全国情経武官を制造を開 ・ 全国情経武官を制造を開 ・ 全国情経武官を制造を制造を制 ・ 全国情経武官を制造を制造を制 ・ 全国情経武官を制造を制造を制 ・ 全国情経武官を制造を制造を制造を制造を制造した。 ・ 会員に低齢されたと

一時より新教州電影響では二十八日午前十一時より新教州電影を駆信したが四名事態に 中には中等學校卒業の者も様常あるこ 中には中等學校卒業の者も様常あるこ では正もく教験維時代を機器のて 第三回閉塞隊 記念祭

大長節祝賀 本溪

年後二時より湯

往來 次長 三十山

上げまずわし

を一人で大

大連な 工樂講座 五斯專業、

日

草駄天 リン大會

朝鮮第○團 離奉原除

山涨線より輸売離在中であつた朝 後捜査上の関係にて掲載線止甲の に本紙の報道せしさころなるが其 に本紙の報道せしさころなるが其 に本紙の報道せしさころなるが其 が事り」と、 大石橋野祭の大活動さなり管地 大石橋野祭の大活動さなり管地 不山際に侵入したが運のつき途

自動車料金

、自由したるしたいでは、 昨年大平山保線丁場な荒らし 【秦天】既報率天署では二十九日 年前九時率天自蘇車組合談を召集 し約三時間に更り料金値下げに関 まで片道五十銭往復九十銭、額 大道一圓往復一圓五十銭、額 動士で、十間房金成館 まで片道五十銭往復九十銭、額 動士で、十間房金成館 は、十間房金成館 は、十間房金成館 は、十間房金成館 奉天で値下

に値下げすることに決定し目下開 実際に地議中であるが一瞬日中に 窓呼ある響で窓叩あり次等質能す 三十九月天長部部日屋部民一同午前十時端銀公所に製り庭内に於て配置を行った何分事と 場者四十名を超える歴況を呈した 場者四十名を超える歴況を呈した 場本部に於ては午前九時より第 上、本語紙の屋部民の集りに付き來 場を開入の集りに付き來 に表示されては午前九時より第 天長節遙拜式

海賊馬賊横行

に乘合自働車鞍山騰鰲堡間

大長節拜賀式

本深郷に於ける天長節

續行公判辯論

かけみは既に十分戦権をしてあた。しかし、のだつた。それにそんなに総扱つのだった。それにそんなに総扱つのだったがく手にかく、

さう思つて被く笑ひながらい 「きっして下されば、郡、此太郎

は落ちついて驚いた。

樂部の野球試合は廿

頭目王子珍 惡運盡き捕はる

なった。なは洗南敷管内に於ける常洗南内には三十名を残すのみさ

安

年前十一時より旅 称へ一同その家

滿洲國宣傳隊 関照等を組織し名物に日満國民の融 國の精融を知ら

り的最山麓記念碑と で取って屋敷を出ようさ思ってる。 さめけみは答へながら、遠言の 金の外に、此太郎をあけみに買り

はすんだ――あけみはさう聴ってはすんだ――あけみはさう。一般実いながら、此太郎のある部屋をになれば、お夏はもう屋敷にはするないここであらう。春木の代り に略い電販にさずるめられてゐる

おちかつて云ふとあけみは今後れた数ひ出て端に、お野な繁経 りはおよりな身代りにしようさめばおよりな身代りにしまうさ お野かれにおさせば続ての金 に笑ひながら

優良 國産品

牛打以上一枚 五錢

がいいないた。さても手元が苦いた後は、かう略しては失離ですが ませんので、蓄めておいた金は皆 かかいないにない では、 は那一般のなくなられ でもれに程、 は那一般のカとのなほのめかして でれに程、 は那一般のなくなられ

でも」をお野はるすがにからないかつた「金は何時までに支機つて 四郎けるのでせう」

一元のま、るて戦 ふ様に行かない 一やないの。お臨にはあの家の取り に織りは出來ないでせうかられ。で

No. 60 ¥ 60.00 川 ^ル 田久原 商商 洋商洋 店會堂行會行

明竹本叶美太夫、三味線響澤州合邦辻(合邦内の段)同澤線響澤仙作

東京の私

一回金御拂と

高級瑞西ジュ ラツシア蓄音器

野想多書 鐘 (271)

朝妻少佐以下 十勇士の通夜

禁し午後四時最列軍にて泰天に到り中食をなし盟國所各工場を

八勇士を表彰

(四)

奉天勝つ

對安東野球戰

に配って凱旋したが第○戦乱会部の発車で三回に分れて職をし戦戦

安東軍の追撃成らず

を極め和無額々神に午後一時門會さして數書の手頭り等ありて盛宴 柳町の小火

で来るのださ見てさつた「私、鳥」で来るのださ見てさつた」ないますのよ」

「お嬢様には御解りにならないで

◆各種双物の柄、庖丁、斧、幌等の柄も實費にてお取換へい

大石橋警察の大手柄

(安東) 安東駅下第八區の自野原 は世八日常城子附近に然て第線標 で自野線に戦死二十名、資際三十 名を出した、商野線様にが近の際間に然 が成まで選乗したさ 大な極い経に於ては非常響心中 鄧鐵梅の部隊

り同氏の安整で再び日本皇帝陛下 和氣鑑々大に天器無端を支配して一同 陸軍の萬處を三鳴、小棟老の音頭で帝 で、中で日本皇帝陛下

廿五年祝賀 本成病院創立

電話六五四四番
ス

節祝賀宴

遊難鮮農の

大金だから、もう!

を取得で約日間のものな際販売を 等取得で約日間のものな際販売を 等取得で約日間のものな際販売を 等取得で約日間のものな際販売を 等取得で約日間のものな際販売を 等取得で約日間のものな際販売を まり窓び入り金削時計理金を のでである。

御相談に應じますの線業に関する總での

要執行戦いてもめやかな通後が警 歩兵伍長小械楽一以上の三氏の遺の歩兵曹長巌野四郎、同田村治二

守備隊の天長

特別の機械を以てお研ぎ致します
∇迄何でも、今度新たに据付けました

◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券をお添へ致します 髓 萬泉 及物店

鮮人宅を襲ふ 日五十一▲整陵字二百日五十一▲整陵字二百日五十一

最近の洮南

天長節祝賀會

戀 愛線ABC 淋病征伐

大に懸行されたが参倉者三百數十 を発生なきを変更に対する天長部大戦等舎は十 の聖器無額を前る設質の接続あり、定類に至って改変に移り数百服地美妙電の接続的であった、定類に至って表数であった。定列に至って表数である設質の接続あり、中央にで表数である。 の住館を書きばかを 事務所長の養際にて皇籍無郷の萬 事務所長の養際にて皇籍無郷の萬 に興趣を添へ、暫くの後参田地方 では、一般の では、一を、一を、一を、一を

三千圓からつかつてるますのよ。 ~御家内したりして……」 心してはつて行った。続人の實質

> (1) 3

弘小平金小上 開本泰 外枝 文樂 洋洋 商洋 室店行行行行

顧惠慶の演説

長岡代表演説



停戰交涉五 重光公使調印に當る 日頃再開 調印

ではり完全一等者記憶ならて突然に懲ららむるも協定成立の場合には特に支障なき限り病床の重光公使に代はり完全一等者記憶なきで突然に懲らむるも強くも五、六日頃には再開され一両日にして調印に至るもの感代さらむる事に対数を決定したので、然がは原際後直に動光公使にあてだ針を測定した、使ってに停戦 會議は當 初の豫定【東京一日後】 光澤州樹は三十日午後陸樹官縣に続て売木陸樹、大角瀬樹と解謝の総集二支際戦突徴は今回の機殲事俗と鴻臚して選かに東京一日後】 光澤州樹は三十日午後陸樹官縣に続て売木陸樹、大角瀬樹と解謝の総集二支際戦突徴は今回の機殲事俗と鴻臚して選かに

極めて非公式に交渉を進められつつあり大體 諒解點に達して居るので正式會議選に確定なみるに致るべ【上簿三十三章】 際職會議の浦東及び蘇州河以南支那軍の位置問題に就いては日支及び中立委員會で低つて副書が行はれる筈である

あつけな に片附

日支代表の演説

メントを破表したメントを破表した ス長官聲明

意を表する 意を表する 意を表する

3

首相の師國はスチムソン米ネーヴ特電廿八日登』タル

有するものさ見 を探答し午發會を開い見一致を見た。 ダイッチ、スペインマ

軍縮海軍委員會

戦闘艦の性質を審議

英米對獨伊の對立

電波を得ひ得べきここを述べ職職 年安良會本日の詩語で佛委真ギュ

ソン氏の左の好く

職参事官の後を受

にジュネーウ特製廿九日整国軍総 を関か感謝したが緩伸代表は皮軽 が健略能武器が否かの問題を影響 が健略能武器が否かの問題を影響 を設するが緩伸代表は皮質を を設するが が関係が表するが のので、 ので、 のでは、 のでは、

たが日本代表は形実験見解を披露、 果然寒米紫癜体の難立を示し、

一般に燃焼がた基礎されたプログラ

後藤博士急行す

佐世保から軍艦で

重光公使容體

少人短いの

難者の治療に

智を派遣

軍器正邦深恒大博士を下見舞のなり歳品常成

を表示から飛返し支那に除る事さな 大連出版の天郷気で北平への際途 大連出版の天郷気で北平への際途 たったが反日新版記者さして注 についたが反日新版記者さして注 についたが反日新版記者さして注 顧執中等三名 いかる丸

二日大連入窓康ごの区肺艇にいか る丸は澱粉の総航行移験につき額 の中 のでは、水油で溶水筋の中

ばいかる丸

軍部中央部の意見は一致しても 6 「職分深くこれを追究せのことに が脱にあること返に四陸の情勢 かしまで、近に現地が戦時間標 がかました。 「東京一日爱」上海不再事他の警 「東京一日爱」上海不再事他の警 工部局の責任 追及はせぬ

警備の責任

| 上野候物館の姿まれた佛像・雅 八郎に捨てたこさ判明。

佛像の始末に極るされ

「ビラミットの中には入って見や

「何處に入口があるので

ふか

事變後の事情説明に

して居る、

天津に歸る

ふ軍司令官と 會見

同充分諒解

行を迎へる長春

日滿各方面の準備整ム

大学教育のには 大学教育のには 大学教育のには 大学教育のには 大学教育のには 大学教育のには 大学教育のでは 大学教育のには 大学教育のでは 大学教育ので 大学教育の 大学教育を 大学教育の 大学教育の 大学教育の 大学教育を 大学教育を 大学教育を 大学教育の 大学教育を 大学を 大学教育を 大学教育を 大学教育を 大学教育を 大学教育を 大学教育を 大学を 大学教育を 大学教育を 0

ら覧して了つた。 微等は伯蓬に撃たれたり、お闘争は伯蓬の勝利に歸した。 らをして、四人なが

大後藤博士を上海に 大大後藤博士を上海に 大大後藤博士を上海に 大大後藤博士を上海に を開いてがいる。

て戦地に出張戦像 博士は出 戦傷で取扱ふ

事等に鑑み戦像を現て破機な意識になるない。 「東京一日景』軍部では自治部では、大学戦が正式に認定されてるない。

來る。……成吉斯汗は健服王で、 埃及王の鄒なので、成吉斯汗の歇 成吉斯汗の墓 萬事は濟む譯だ

要」職盟總合 長岡代表總會後語る

節約を强調

までは、公本な場合をいます。 の部が、公本な場合をいます。 の部が、公本な場合がでいます。 をいまするのがでいます。 をいまする。 をいまる。 をいまる 一十億州の巨級に達した有機で降野出 一十億州の巨級に達した有機で降野出 一十億州の巨級に達した有機で降野出 一十億州の巨級に達した有機で降野出 にして今や職邦諸州・並に地方政府 後の大道を歌き國民谷人の養額を 後の大道を歌き國民谷人の養額を をいて道を歌き國民谷人の養額を をいて道を歌き國民谷人の養額を をいて着し、一世の大道をいていて、

『ワシントン二十八日養』米下院 は本日官吏一割一分滅継髪を可決 政友選舉法改 米官吏減俸

會に提出のが此であるが其の記録を探り歴報を探り成家を得て是非常を探り成家を得て是非常 正委員會

、一段人民に脅威を奥へから特に攻撃的さ云ふをは單獨に行動出來るもの

そ一層攻撃的性質
以人民に脅威を奥へ

門での権がを治説し

概念の議論を発れれ模様である態目たる選集區制の問題に就ては、酸目たる選集區制の問題に就ては 委員長決定 要なる使命を持つものである 実際でしむるためであって概念館 要なる使命を持つものであって概念館 要なる使命を持つものである 蔣光鼐辭職







露芬不侵修約 がても常にパナマ連河を開いて

芬蘭國會可決

謀次長 サエート職邦が其の国際を接げる ウエート職邦が其の国際を接げる ウエート職邦が其の国際を接げる ウエート職邦が其の国際を接げる 他の隣邦諸國で同 侵略條約未締結國中には日本及び

端氏に弔電

二億三四千萬

支那なも含まれてゐる 米大統領 氏に黙ら三十日午後郷重なる時電人だけた上海民際役政委院長売端貞大川谷一九日上海繁徽事代で心臓の死を塗れ 民政黨の見舞

東京三十日登 民政策では三十日 地域 製液 神戦事長二氏の名で 日 地域 製液 神戦事長 二氏の名で 田文一郎氏 た見 郷の鳥の 丘流に 特派する事に決定した 重光公使夫人

主要國五巨頭會議

近く開會に決定す

軍縮會議一屢の望み

翌 出眠の長崎城に寒艦に海に破ふこれ 氏は家族同僚一日午前十一時戦后 太子さん、鴻耀氏獣長や忌鴻耀明 な子さん、鴻耀氏獣長や忌鴻耀明 笠井重次氏 近〈來滿、渡米 上海に向ふ

決は今時外が後の誤解を得て三十日 使東京職養西下、朝鮮總田家天に を東京職養西下、朝鮮總田家天に を東京職養西下、朝鮮總田家天に を東京職養西下、朝鮮總田家天に を東京職養西下、朝鮮總田家天に を東京職養西下、朝鮮徳田家天に を東京特電三十日豊 日米親善の 祭力してなる笠井重次氏電三十日襲】日米観番の 次郎にもダットにも思ばれるこ

で で 起ったさもいへる。 ヘヤビン 洋子が 近處まで 來た 歌響で、 近處 一覧、として、もう一つは巨敗ーいぶかしさうにタットが歌いた が落ちてゐるのだかられ。所で ・ 此處に傾があるかさいふに、この おかに襲けれ、この中へ入れられ 人ることが出來る。で、洋子が解 「二つの機物? 二つさは?」 ら身を除すために這入っ行て だ、成吉斯汗の墓し うに云った。

墓は?齊庫は~〈四〉

0 藤順三 謎

二二年版の監督してことを選びるる。元木陸相故河 競兵式終了さ共に憲兵隊から退倒ひを提出したが警備の責 ものであるさ がいらて記され して之を追めて第一の 自治指導 殘務整理

られた信いその後度を整理中であっ いれた信いその後度を整理中であっ のである。 市政限に張繼いだ『原天電話』 上半期入超額

さ観られてゐる 鐵道收入減少

て開発の正見能による輸入し働い の見込みで最早大なる入廷は無い の見込みで最早大なる入廷は無い ものさ思はれる僻現在の懐默より ものさ思はれる僻現在の懐默より



三鳥眞説明

一向って左から

ふ滿鐵運動會

傷病兵御慰問

貿陽宮妃殿下

八時二十分臨時列車で古八時二十分臨時列車で古

包圍さる

令部は當分吉林に

三十日夜十一時就化は酸腫の包圍

金男門 で極力これが瞬

園○川

さ吉林へ

大防禦の準備中である一十支里の地點におい

午前中既に觀衆熱狂

□二七米四八△六等田中(白組) □二六米〇四 □二二种八△二着洪久保(紫組) 三二种八△二着浦野(樺組)三 着仲田(白組)△四着敷根(赤 組)△五着尾田(綠組)△六着 坂田(黄組)

日

気をつけずやい

和城で、花の名所飛鳥 で出した漢田選手が男職自総の た出した濱田選手が男職自総の

つた風情である、花は満賦が一 らう、智、智、親・滿洲人士の心を飛べ器を滿懸するにはさぞよか

敵匪三

一方面か

吉林軍防禦陣地より後退して

に肉薄す

鶴見

枝隊と協力防禦

『東京一日**姜**』 吳海軍病院に御 の御容徳は

オジヤン

除ご

も八分の関きに人を呼び脱縦の歩 日池畔は建阪町の美妙連

朝香宮御容體

中央に 表族を押立て今後の 禁策に 戦して七十五名を總板東した。このオール 総製 は一日午前九時半 火器、 機械、 銀棒等を以て警官隊 でかか かけてるる日活及び日本 無行 包閣・館内に進入せんごするや 常い 大器、 機械、 銀棒等を以て警官隊 でなか 一、 東京一日登 1 トーキー反響の かっき 磁管中、 西峡田署貞がこれを また。 日活系映畵館 從業員が大 包圍した警官 日曜日の書入れ

日午前八時三十分より滿洲國々 満洲國々歌

の壁接に選

自動自轉車

幼兒轢逃げ うすらぐ 敦化の危險

十名、富士館百名(內女十名)

色の洋脈か着た日本人が自動自動性の著地路上に於て年齢三十歳位最

部に標準線を貸はせその影波走! 弘三(と)を懸き館と頭部および足弘三(と)を懸き館と頭部および足弘三(と)を 歌化は王徳桃部下、大水舎、その を発部の際、坪井の際等出養とた 長谷部の際、坪井の際等出養とた を谷部の際、坪井の際等出養とた れて居る《長春電話》

春季競馬 けふ午前の成績

時より開始されたが午前中の成績と介謝競馬第三日目は一日午前十

て答が蔵に手配し拠人接着中でた。属け出により目下大連署に

看黑龍(田中善騎手)二分一競馬(新古呼)干八百米

王仁医院 株理(衛語製画技術) 、南部大九五音・ 就職保證

目

物

問屋

椅子張裝飾織 各國レーザークロス及フェルト 電車、汽車、自動車、船舶用機将 子 張 用 織 物及原 料 一 物、室內裝飾織物 燃

在庫品豊富に之有候間何卒多少に不拘 「店舗改修中に付き柳屋アバー ブラインド及り

會路宮本商店大市

但心治線行資格高女卒青沼邦女タイプ 一連成業成詳細照合せられた。 近江町二映樂館橋(西廣場)

戦工至急奏集 たの規定に張り輔充職工さらて採用致ら度く候に 常店本支店へ至急履歴書持参の上御會談相成度ら 規定 規定

圓

のひろひ物

百百百二二十 名名名十十名 名名

記の所に移轉致しました

醫院

出長奉本 長春天 支 駐在 地店店店

大津齒科醫院 郞 笠

片岡千惠蔵の 四日まで日のベー 果然! 大好評! 大人氣!!

移轉先 大連市西公園町十三番地

世界レ

ドを破る

.

ン

 「東京一日餐」オリムビックへの貯職ごして明治戦富で開かれた陸上競技第一大建造會に行った二時間三十二分三十五杯八の記録を完全に破った、なは高機様司君は二時間三十二分二十六杯、津田塚一郎君は二時間三十二分二十六杯、津田塚一郎君は二時間三十二分二十六杯。津田塚一郎君は二時間三十二分二十六杯。津田塚一郎君は二時間三十二分二十六杯。津田塚一郎君は二時間三十二分二十六杯。 矢矧延治君が二時間卅一分で

一等ご記録及び新記録左 ▲ 解投決勝板橋(三蔵)四〇米八四(日参) 関東陸上競技選手 ▲ 解投決勝板橋(三蔵)四〇米八四(日参) 関東陸上競技選手 ― 五分八秒(日本新記録) 東陸上豫選第二日 ▲二百米決勝中島(早) 二次子子 ▲三段跳決勝山脈(早) 四米 一 ▲「百米決勝富江(明) 二分三秒 二時間三一分三1秒 二時間三一分三1秒

五日より「彌太郎笠」後篇上映

活 日

帝

쨏

酒 內 彈 二陸軍省御買上

肉彈三勇

かさ 長春

高橋二時間三二分二一种 二時間三一分三一种 二時間三三分二六秒(以上 世界新記錄及び日本新記錄) 大男の搔拂ひ

▲四百米障害決勝陸口(明)四米

▲五千米競歩增田へ記

四四秒八

により目下大連歌で被人手配中ケットに入れてあった現金二十五ケットに入れてあった現金二十五ケットに入れてあった現金二十五 三十十年後二時代、黒の長衣を着しる年齢三十歳位、黒の長衣を着したさことを変がに至り順替せんさしたさころを変がに至り順替せんさしたさころを表している。

原南省係宿加茂宮司その世となった神学が経常日につき午前八時陸 『東京三十川後』三十二は靖國神

日本人総行家の総會によるもので かぶ家連問には目下水中に潜って 南十六里のイスキア島に來遊した これはナポリの西

れ社長原田六郎氏 た者あり、今朝 たから百圓札千枚 たから百圓札千枚

つて犯人は出験一名なる事実明し一日繋小池を捜査中なほこれによ

二日午後九時酸三日午前三時 で行はれる事さなった、太刀・ で行はれる事さなった、太刀・ で行はれる事さなった、太刀・ の一東京間九百餘キロ徳コー

盗難の

上野博物館御物盗

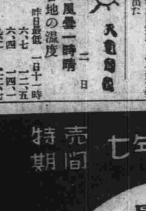
結婚の無料媒介

戦争物の一體金融形で、直に人夫な雇び汚物

大連委会町七二醫師機予正衛氏は 一日午前一時より同六時までの間 神空に旅で金庫内にあった現金五 前のでは着かに密取され早速大連 櫻井醫院に泥棒

大意意自由

代々幡に





★集でた外面は大二度・小一風の館合に表現で消費し、関帯軍省大規定と外面は大二度・小一風の館合に表現で消費し、関帯軍省

負傷戦士の息問金になります 0 (ミルクチョコレール)が

森永 外函

-000 Ξ

日 演 五 房 店 ٤ 會鐵山 日 演 座 滿月 主地小 事方學支會者口日少

一映

事方學支會者口日少會 事校局 未 局佐 助 部 定所堂長堂定座長穀堂氏部

伊勢町西廣場 化乃屋分舗 用下さい **電話** 3457 22516

の節句

をのむ それで一日爽快

是非此,好期ヲ御見逃シナク御來店ヲ御待致与ス安イ正礼・特價品大見切品豊富・品ト値ヲ見クラベテ

のために必要なものです。 をの気にはゲイタミンです。こ のために必要なものです。

榮養劑の革命

ヘーフェ菌

胃袋のいらぬ栄養剤

結核病や食慾不振の慢

すま上。申謝、感。を用、愛。御

固煉白粉

煉的

性衰弱病に力强い貢獻

的からと」だけが使用せられ

至難な栄養増進一二の成分では

けれども我々の保健上なくては ならない繋ぎ裏は、この外にまだ を共にだん(とかかつて来ました。繁一は、緩がにかってでまして、 かかった。様にだんが、繋ぎ繋の繋がれ、かり カルシウム、マグネシウム、カリ カルシウム、マグネシウム、カリ

物讀間週防豫核結

なくては完全の効果を動待し得ななくては完全の効果を動待しもので動物が多いことがわかると共に、種類が多いことがわかると共に、 僅か四圓八十錢で

(愛知縣)

下田修二

これを服み始めて、私が先づ職一

を無理に吐いたりもしました。 氣持ちが惡くて

砂質元 ロミッワ石蔵本舗

東京・阿國(日本福島語) 東京・阿國(日本福島語) 東京・阿國(日本福島語)

0.68

する一方でした。 「はいれてはなく、身体は対 のますが、結核の外にも転度の が、対しなく服られず、 が、対しなが、になく服られず、 対して食態はなく、身体は対 三ケ月前に「蛇豚わかもと」を買 が、お核の外にも転度の 数目もないので が、にいって

結核、神經衰弱 胃腸病克服の確信を得た私

脚落しくて、吐きさうです。 を表表です。だから如何に実味したとは思はないし、度べても、ちのと食べても、ちつとも美味 を表表です。だから如何に実味した。 をは思ばないし、度べた後は ないとは思ばないし、度べた後は

これだけ見違える物な対してなますが、前、今後も動くですから、私は自分の結婚を申解してなますが、前、今後も動く

なりました。そして、二級甲を膨いたのは、血色が著しく良くなつのに、心の色や顔色が著しく良くなったのは、血色が著しく良くなったのは、血色が著しく良くなったのは、血色が著しく良くなったのは、血色が著しく良くなっ して來たのには自分ながら贈さま 公然がずつと増

まして、無分が晴々として、微快 総なく、便通も日々、正調にあり になった。 では、できる。 を入なだから冒騰の苦しみは勿 tr&になりました。 かなくては納まらない程に食息が

は、その整選素を簡化もし、吸いまする、事態大間の智服の脈がして、それでこそ本情に関いの智服の脈が

三版自を服み始めた頃から、食然は一層出て、何等の御馳走はな 然は一層出て、何等の御馳走はな

水白粉

文統自称と共に厚化粧等の補助に用ひて効果があります。 とはが出来、煉、陆煉、粉白粉と共に決して肌膚を売らしません 化粧が出来、煉、陆煉、粉白粉と共に決して別ければ至極簡単に な有し、検に結んと化粧下を必要と致しません。例 と記な普通化粧準化粧酸し化粧用として獨自の作用

胃傷に活力

のないやうな患者でも一説無わかしのないやうな患者でも受け容れる力 やうになり、メキー (資源を回復したといふ例が少くありません。単新療法を第一とする結核の治療等療法を第一とする結核の治療等が出るののとして用ひられ、有名なでするものとして用ひられ、有名なでする。 ロうこなり、メキー (複線を回復) をといの服用によって敷目の中に 楽賞物の議覧が出来る また結核性疾患で胃臓が極度に これこそ

結核と食慾不振に効く 一ヶ月一貫目の體重増加 日三瓦の榮養素で

ものであり

な活性の状態で含んであるのがへ 類に分れてゐますが、その大部分 はそのペーフェのすべての成分を一つフェであつて「総戦わかもと」

和下とルタカ尖跡
やむなく運転して焼きない。 共に置入りましたが、少に置入りましたが、少にでは、共に食飲や飯のためで、大切ない。 とのなら、大切ない。 とのなら、大切ない。 とのなら、大切ない。 とのなら、大切ない。 とのなら、大切ない。 というない。 というないい。 というない。 といいない。 というない。 というない。 といいない。 というない。 といいない。 といいない。 といいない。 といいない。 といいない。 といいない。 といいない 無って 極くの 野な 服用すると、 却で 網狀が 悪化しました。と、 却で 網狀が 悪化しました。

新榮養素

動力の観察となるもので、その動きな組織してぬるすべての器官の活動を組織してぬるすべての器官の活動 非常に豊富に含んでかります。 かと申しますと、それは耐寒であって、「終煙わかもと」はそれな い禁養難ともいはれる謎であり 生死を左右する 果然治林薬界を征服す 御座います一卓以上 も御利用を歓迎いた 一室四百人様迄は一条人の經濟 い事はきつと皆様のお

によすでで学館はでで、 堂食 階一の でで学館は一の でで学館は一の でで学館は一の ででできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 ででできる。 でできる。 でででできる。 ででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででで 三華日 人人人 際曜月月 開曜用 まはす家のの一品 三二 す菊料族召小杯料 正理室す會か理 宗はも儘食ら、

綠 綬 褒 章 下

蠅、蚤、南京虫退治に一番よくきく 必ず猪牌といって下さい

御買求めの節は

日本寶樂株式會社

三木元子女史創製

金五十

金七十錢

ワ白粉及化粧品

ウムを主剤に特殊の成分を配合せる

普通白粉とは全く原料を異に めて美しく 然も鉛白粉と同様に附着 汗に崩れず又剝落ちません 粉白粉 伸び自在で

まず

クリーム 白粉 離のサーフ 出版を防みにクリーム 白粉 離のサーフ 出版を防みにクリーム化したもので、荒れを防ぎ肌理を細かにし、色を白く致して適當なると同時に、如何に化粧でとして適當なると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に化粧であると同時に、如何に出来ます。 クリ 絶對に鉛分を含

(圖寫縮種各粉白ワーサ